

シンポジウム等の扱いについて（案）

1. シンポジウム（「別紙 1」参照）

【日時】

- ・平成 20 年 2 月 5 日（火）午後 1 時 30 分～ 4 時

【場所】

- ・松戸市民劇場 松戸市本町 1 1 番地の 6

【位置づけ】

- ・東葛広域行政連絡協議会で政令指定都市の制度に関する調査・検討を行っていることを市民に周知する。
 - ・政令指定都市制度に関する理解を促すとともに、東葛地域の将来のまちづくりの議論を喚起し、考える場として提供する。
- 中間報告の発表からかなりの時間が経過しており、中間報告とは切り離し、上記の位置付けのもとで開催する。

2. アンケート調査（「別紙 2」参照）

【内容・方法】

- ・参加者に対して、シンポジウム当日にアンケート調査を実施し、その結果を最終報告に掲載する。

3. 基調講演

【テーマ】

- ・政令指定都市制度の概要と大都市制度の議論の行方について

【講演者】

- ・大杉 寛氏（首都大学東京大学院教授） 県のアドバイザー制度を活用
基調講演者には、パネルディスカッションのコーディネーターもお願いする。

4. パネルディスカッション

【パネリスト候補者】

- ・学識経験者（千葉銀総研部長等）
- ・経済界（ex. J C 又はその O B）
- ・住民代表（ex. 自治会連合会長，行政界付近の自治会長）
- ・県市町村課 板倉合併推進担当課長

【テーマ】

- ・東葛地域における行政界（市域）を越えた広域的な課題について
- ・東葛地域の将来のまちづくりについて
- ・政令指定都市に対する考え方について

5. 質疑応答（「別紙 3」参照）

- ・質問用紙（受付で配布し、途中で回収）により募集した質問の中から、3～4 項目を質問する

6. 当日の配布資料のイメージ

- ・シンポジウムパンフレット
- ・東葛 6 市と制定指定都市との比較（主要指標の整理）を簡単にコメントを入れてまとめたもの
- ・質問用紙（パネルディスカッション中に回収）
- ・アンケート用紙（終了後に回収）